

# 幸せを感じる心とは (欲を言えばきりがない！)

川俣駅東西通路と駅舎が完成し、ほんと一段落の日々を送っております。駅舎を造るのに多くのエネルギーを使いました。平成18年度から恩田前町長肝いりで、川俣駅周辺整備調整協議会並びに駅前地区ワーキング部会で計画を作り始め、現在までに9年の歳月を有しました。国、県、東武鉄道株、町そして地権者が一致協力した一大事業でした。後にも先にもこれだけの英知を費やす事業はないと思います。

この事業で今後、注目されるのは駅前の発展計画です。残念ながら駅前には町の土地はほんのわずかで民間の土地ばかりです。この民間の土地がどういう風に使われるかで、発展の仕方が変わっていきます。大きく変われるように町もお手伝いしていきたいと考えております。

つい先日、住民の方からお小言をいただきました。それは「なぜ川俣駅にはエスカレーターがないのか？」というものです。その方によると、エスカレーターがないのは「町長の怠慢」なのだそうです。今回、エレベーターを4基付けました。その内2基は災害対応型で救急隊のストレッチャーが入る大きさのものです。が、エレベーターでは駄目で、エスカレーターを付けて欲しいという要望です。

エスカレーターは乗降数5000人以上の駅になれば、補助金が出て付けられる条件を満たします。現在、川俣駅の乗降数は2700人です。今の倍になれば可能ですと申し上げました。

欲を言えばきりがないものですね。東武鉄道の駅には乗降数1万人を超えていても付いていない駅があります。

その方は川俣駅がうらやましいそうです。投稿文を紹介します。

#### 以下ネット投稿文

東武東上線下板橋・東武練馬・下赤塚の3駅は、1日の平均乗降客数が1万人以上いるのに、未だにエスカレーター、又はエレベーターが設置されていません。

そのうち下板橋駅は、恐らく駅移転構想が絡んでいるのではと思いますが、東武練馬・下赤塚両駅に、未だに設置されないのは何故だと思いませんか？

特に東武練馬駅は、1日の平均乗降客数が1万人どころか、急行停車駅の成増駅を上回る6万人もいるのに(成増駅は6万人未満)、未だに設置されないのが不思議なくらいです。

ちなみに、東武鉄道の2015年度事業計画では、現在橋上化工事中の伊勢崎線川俣駅(2000人台)と、3000人~4000人台の伊勢崎線和戸駅・南羽生駅、日光線新栃木駅にエレベーターが設置される他、東上線でも、2016年度完成予定で、男衾駅(2000人未満)で橋上化工事が実施され、エレベーターも設置されます。

平成28年2月24日

明和町長 富塚もとすけ